九州地方プリント No.12

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

名前

出席番号　　必要な人は書く

問1　九州地方の宮崎平野などで盛んな、冬でも温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用することで、作物の成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法を何といいますか。

○ 二毛作　○ 近郊農業　○ 抑制栽培　○ 促成栽培

問2　東京から各都市への鉄道による移動時間を地図上の距離に置き換えた変形地図において、2010年から2014年の間に、九州南部方面の距離が他の主要都市と比べて劇的に短く変化した様子が示されることがあります。このような変化をもたらした主な要因として最も適切なものはどれですか。

○ 九州新幹線の全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと
○ リニア中央新幹線の先行区間が開業し、西日本方面への移動が高速化したこと
○ 青函トンネルの開通により、本州と周辺の島々を結ぶ鉄道網が連結されたこと
○ 格安航空会社（LCC）の就航が相次ぎ、空路による移動の選択肢が増えたこと

問3　地熱発電は、太陽光発電や風力発電といった他の再生可能エネルギーと比較して、エネルギー源としてどのような利点があると考えられますか。その理由を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。

○ 燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）を安価に輸入できるため、発電コストを低く抑えられる点
○ ダムを建設して水を蓄えることで、電力需要の変化に応じて瞬時に発電量を調整できる点
○ 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点
○ 二酸化炭素を全く排出せず、放射性廃棄物の処理も必要ないため、環境への負荷が最も低い点

問4　日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。

○ 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（かや）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。
○ 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。
○ 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。
○ 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。

問5　九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。

○ 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。
○ シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。
○ 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。
○ 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。

問6　九州地方において肉用牛の産出額が非常に高い背景には、南九州を中心に広がる地形的要因があります。火山噴出物が積み重なってできたこの台地は、水持ちが悪く稲作に不向きであったため、古くから畜産業や畑作が発展してきました。この台地の名称として適切なものはどれですか。

○ 牧之原台地　○ 武蔵野台地　○ シラス台地　○ 根釧台地

問7　九州地方の各県を比較した統計において、小麦の収穫量が約8,800トン、携帯電話の加入数が約1,114,000件である一方、温泉の源泉数が4,342箇所と他県に比べて突出して多い特徴を持つ県はどこですか。

○ 沖縄県　○ 大分県　○ 佐賀県　○ 愛知県

問8　九州地方南部において、稲作よりも肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な要因として最も適切なものはどれですか。

○ 冬の寒さが厳しく、冷害によって米の収穫量が安定しなかったため。
○ 年間を通して降水量が極端に少なく、大規模なため池を造ることが困難だったため。
○ 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。
○ 平地がほとんど存在せず、斜面を利用した果樹栽培しか行えなかったため

問9　福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。

○ 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興
○ 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成
○ 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培
○ 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖

九州地方プリント No.12

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 九州地方の宮崎平野などで盛んな、冬でも温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用することで、作物の成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法を何といいますか。

- ○ 二毛作
- ○ 近郊農業
- ○ 抑制栽培
- ● 促成栽培

問2 東京から各都市への鉄道による移動時間を地図上の距離に置き換えた変形地図において、2010年から2014年の間に、九州南部方面の距離が他の主要都市と比べて劇的に短く変化した様子が示されることがあります。このような変化をもたらした主な要因として最も適切なものはどれですか。

- ● 九州新幹線の全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと
- ○ リニア中央新幹線の先行区間が開業し、西日本方面への移動が高速化したこと
- ○ 青函トンネルの開通により、本州と周辺の島々を結ぶ鉄道網が連結されたこと
- ○ 格安航空会社（LCC）の就航が相次ぎ、空路による移動の選択肢が増えたこと

問3 地熱発電は、太陽光発電や風力発電といった他の再生可能エネルギーと比較して、エネルギー源としてどのような利点があると考えられますか。その理由を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。

- ○ 燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）を安価に輸入できるため、発電コストを低く抑えられる点
- ○ ダムを建設して水を蓄えることで、電力需要の変化に応じて瞬時に発電量を調整できる点
- ● 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点
- ○ 二酸化炭素を全く排出せず、放射性廃棄物の処理も必要ないため、環境への負荷が最も低い点

問4 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。

- ○ 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（かや）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。
- ○ 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。
- ○ 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。
- ● 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。

問5 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。

- ○ 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。
- ● シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。
- ○ 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。
- ○ 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。

問6 九州地方において肉用牛の産出額が非常に高い背景には、南九州を中心に広がる地形的要因があります。火山噴出物が積み重なってできたこの台地は、水持ちが悪く稲作に不向きであったため、古くから畜産業や畑作が発展してきました。この台地の名称として適切なものはどれですか。

- ○ 牧之原台地
- ○ 武蔵野台地
- ● シラス台地
- ○ 根釧台地

問7 九州地方の各県を比較した統計において、小麦の収穫量が約8,800トン、携帯電話の加入数が約1,114,000件である一方、温泉の源泉数が4,342箇所と他県に比べて突出して多い特徴を持つ県はどこですか。

- ○ 沖縄県
- ● 大分県
- ○ 佐賀県
- ○ 愛知県

問8 九州地方南部において、稲作よりも肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な要因として最も適切なものはどれですか。

- ○ 冬の寒さが厳しく、冷害によって米の収穫量が安定しなかったため。
- ○ 年間を通して降水量が極端に少なく、大規模なため池を造ることが困難だったため。
- ● 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。
- ○ 平地がほとんど存在せず、斜面を利用した果樹栽培しか行えなかったため

問9 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。

- ○ 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興
- ● 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成
- ○ 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培
- ○ 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖